

社会福祉法人 越前自立支援協会 中・長期計画 & 事業計画 (1)

長期目標	中・長期プラン	事業ビジョン	当年度個別事業プラン	計画数値目標	担当者	評価
I 社会的養護専門機関としての資質向上をはかる <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 基本方針 1.2.3.4 </div>	I-I	人権保障機関としての養育環境を継続的に整備・改善する 第三者評価受審や外部相談員、子どもアンケート(意向調査)等の活用によって処遇方針や養育環境を継続的に革新することで、“子どもの最善の利益のために”の理念(=養育指針基本理念)を実効化する	自己評価の実施(次回、第三者評価受審はH31年度)	1回/年	村中	
			外部相談員の各ホーム訪問による子どもの意見聴取	10回以上/年	村中	
			入所時における「権利ノート」の配布と、意見表明権及び最善の利益(権利擁護)に関する説明の実施	1回以上/年	村中	
			①子どもアンケート(意向調査)実施、②被措置児童等虐待対応策&養護計画&事業計画等につき保護者や子どもへ周知	各1回以上/年	中島 明石	
			子どもの権利擁護に関する職員全員学習会の開催<被措置児童虐待防止><虐待届出通告制度>	各1回以上/年	村中	
	I-II	職員全員の直接処遇スキルを向上させる 回復を目指した支援を通して自己肯定感を育む、質の高い“養育の営み”を構築する	イノベーション評議会の開催によるケアガイドライン・リスクマネジメントマニュアル等の継続的見直し	1回以上/年	田中	
			ホーム運営会議の開催	6回以上/年	横河	
			安全と安心に包まれた「養育環境=良質な暮らし」を創るための処遇や環境のあり方検討	6回以上/年	村中・横河・藤下	
			ホーム行事・個別行事の実施	50回以上/年	横河	
			Gホームを含む各ホームの運営状況把握のための会議開催	20回以上/年	村中	
	I-III	家族再統合への支援と自立支援・アフターケアを充実する 関係性の回復、家庭問題の緩和、家族再統合を目指した家族との連携・協働、およびアフターケアを充実する “育ちのアルバム”や“退所児童自立サポート事業”等、継続的支援と連携アプローチを主眼とした援助を展開する。 <退所児童の集いの場の創設検討>	食育会議メンバーによる家庭の調理体験・食育指導の実施	30回以上/年	吉田	
			食品衛生責任者有資格者の拡大	1名以上/年	吉田	
			処遇スキルに関する職員全員学習会の開催(各担当職員主催)<問題行動に対する援助技術><性教育><医療と健康・食育><安全確保・事故防止><生い立ちの整理>	各1回以上/年	田中 馬場 山田	
			グループワーク(ピアカウンセリング等)の実施	25回以上/年	明石	
			入所児童への個別心理療法の実施	200回以上/年	浜崎	
退所児童におけるケース検討会の開催	8回以上/年	馬場				
アセスメント評議会の開催による自己肯定感回復を目的とした養育実践のための援助指針(自立支援計画)づくり	2回以上/年	明石 橋本文				
家族療法心理士による家族療法ケア	延120回以上/年	瀧川				
自立支援・地域支援SWIによるアフターケア	延30回以上	横河				
一時家庭帰省後帰所時における家庭状況確認と丁寧なファミリーソーシャルワークの実施	入所児童全員	岸梅				
退所児童の状況を把握するための会議開催	2回以上/年	横河・馬場				
「退所児童の集いの場(交流会)」の実施による措置解除後の就労青年及び就学青年に対する自立支援	1回以上/年	横河				
施設退所児童自立サポート事業の実施	1人/年	明石				
退所児童の積極受入(再措置)と就学・就労支援	1人/年	浜崎				
ライフストーリーワークの推進と育ちのアルバムづくり	入所児童全員	橋本文				

社会福祉法人 越前自立支援協会 中・長期計画 & 事業計画 (2)

長期目標		中・長期プラン		事業ビジョン	個別事業プラン	計画数値目標	担当者	評価	
II	組織運営基盤の強化と事業拡大により社会的養護の地域化を進める	基本方針 5.6	II-I	地域・市民に根ざした組織運営基盤を構築・強化する	地域自治組織や学校、市民活動団体との連携を推進し、地域との交流基盤を強化する ＜地元子育て支援機関との連携強化＞	3000円以上の寄付支援者の獲得(※パブリックサポートテスト要件のクリア=税額控除対象社会福祉法人としての認証継続)	100名以上/年	友兼 亀間	
					自立支援ネット、丹南自治研センター、ケアサポート春駒等、地域のNPO団体への人的貢献(役員等への就任奨励)	6名以上	橋本 村中		
					地域交流基盤づくりのための南地区自治振興会〔総合委員会・総部広報部会〕への参画	6回以上/年	橋本 田中		
					行松町子ども会行事への積極的参画〔体育祭・夏季レク・夏休ラジオ体操・地藏祭り・秋祭お神輿・クリスマス会・6年生を送る会・総会・草刈・大掃除〕	10回/年	村中		
					地元小学校への訪問支援活動の実施	300ケース以上/年	西浦		
					地元小学校教員、中学校教員との情報交換会の実施	各1回以上/年	西浦		
			II-II	多角的・高機能的な社会的養護事業を積極的に展開する	後援会活動や地域福祉団体等の施設見学受け入れ等を通して、社会的養護福祉の実践と理念を地域に啓発する	広報誌「あおぞら」や「年賀挨拶」の発行等による情報公開と社会的養護制度の啓発	600部配布/年	山田 深尾	
					地域福祉団体や学生などによる施設見学会・事業説明会の積極的受け入れ	10団体以上/年	伊藤・山田・橋 本文・岸梅		
					(保育士・里親養成等のための)実習生やボランティアの積極的受け入れ	延200人以上/年	霜 川端		
					児童相談所や里親会との連携のもと、養育里親家庭・養子縁組家庭等への相談援助活動(里親支援SW)	100ケース以上/年	山田		
					社会的養育ビジョンへの対応=フォスタリング機関、一時保護所、親子保護室、子ども家庭総合支援拠点の一部受託等、児童養護施設の多機能化に向けた検討(視察等)	3回以上/年	橋本 明石		
					市ブックスタート事業による要支援家庭へのアウトリーチ活動	50ケース/年	村中		
II-III	他事業体との協働によって新たな福祉事業を創造する	地域子育てを展開する ＜子どもの貧困対策事業へのアプローチ＞ ＜地域子育て支援拠点の創造＞	地域子育て親子の集いの広場の開設(子支セ支援員)	240日/年	山本				
		市民学習会の企画などを通して、地域の要支援児童に対する援助者(機関)の結集軸となることで、「全ての子どもを社会全体で育てる」理念(=養育指針基本理念)を実効化する	市乳幼児検診時の育児相談援助活動(センターSW)	250ケース以上/年	明石				
		越前市社会福祉課〔生活保護G〕との連携のもと、生活保護世帯児童家庭等への相談援助・学習支援活動	延100ケース以上/年	瀧川 藤下					
		越前市子ども子育て総合相談室へのSV、越前市要対協のネットワーク機能強化(情報共有等)への協力、市民学習会(=社会的養護研究市民セミナー)の共催	SV 24回以上/年 セミナ-2回以上/年	橋本					
		県内の社会的養護施設の協働によって「社会的養護自立支援事業」を実施する事業体(NPO)の創設検討	3回以上/年	橋本・亀 間・奥山					
		地域公益取組として、他の社会福祉法人や仁愛大学(BBS)等との協働事業(子ども食堂&学習支援事業、支援者への支援事業)の創出検討、及び既存の協働事業への運営協力	12回以上/年	橋本・明 石・瀧 川・藤下					
貧困対策や障害者支援施設の実践等、社会的養護以外の福祉領域に関する意見交換や学習機会の創出	1回以上/年	橋本 亀間							

社会福祉法人 越前自立支援協会 中・長期計画 & 事業計画 (3)

長期目標		中・長期プラン		事業ビジョン	個別事業プラン	計画数値目標	担当者	評価
III	<p>チームワーク・仲間意識の醸成をベースとして、人材(=マネージャー)育成に努める</p> <p>基本方針 7.8</p>	III-I	職員全員のマネジメント力を育成する	<p>法人意思決定機関への職員参画推進と仕事現場への権限委譲を徹底する <チーム会議・PT活動の推進></p> <p>自分事化できる人材の育成を通して全職員のマネジメント力を向上させる</p>	長期目標・中長期プラン・事業ビジョンの見直し (於:マネジメント&イノベーション評議会<H31~H35対応>)	6回以上/年	橋本・亀間・明石	
					常勤職員の理事への積極登用による「現場意見の理事会への丁寧な反映」「法人意思の現場への的確な伝達」の実現	5名	岸梅 亀間	
					PT(プロジェクトチーム)活動の推進[計8PT]と、各会議、各PTによる予算・事業計画等の検討	各3回以上/年	各PT 責任者	
					マネジメント系職員全員学習会(統括所長主催)＜施設長の役割と責任＞＜運営理念・基本方針＞に関する学習会の開催	2回以上/年	橋本 田中	
					法令・制度改正、先進・好事例等の周知	10回以上/年	橋本・奥山	
					職員の職員による職員採用試験・研修(新人研修)等の実施	1回/年	浜崎・霜	
		III-II	情報共有・問題可視化マネジメントシステムを構築する	<p>児童観察記録システムやHPの活用等によって情勢と課題、ミッションとノウハウの即時共有に努める</p> <p>各種・各級会議の活性化により、ボトムアップで問題の共有化・可視化ができる体制を構築する</p>	チューター制度による新人職員の育成	12回/年	中島	
					ディセントワーク(労働のマネジメント)システムの活用・確立	活用10回以上/年	中島	
					全国施設長研究協議会への積極参加(幹部職員複数参加)	2名以上	田中	
					中部児童養護施設協議会の人材確保・研修への企画運営参画	3回以上/年	霜	
					マネジメント評議会の開催による経営・人事課題の評価分析	1回/月	亀間	
					児童観察記録システムの活用に関する基本認識共有のための学習機会の確保	2回以上/年	橋本文	
III-III	組織全体としての研究・改革志向を醸成する	<p>チームワーク(仲間意識)をベースに、新しい試みや積極果敢なチャレンジを奨励する職場風土を育む</p>	ホームページによる子どもたちの日常生活報告や社会的養護に関する最新情報等の提供	80回以上/年	瀧川 田中涼			
			療育会議メンバーによる処遇検証・児童状況把握・課題共有のための会議の実施	10回以上/年	明石 瀧川			
			食育会議メンバーによる処遇検証・児童状況把握・課題共有のための会議の実施	20回以上/年	山下 吉田			
			直接処遇者による処遇の相互検証・児童状況把握・課題共有のための会議の実施	8回以上/年	馬場			
			自主・自発的な外部主催研修会等への参加〔原則全員参加〕	1人1回以上/年	浜崎・山田			
			児童虐待、心理療育、児童福祉施策に関する学術集会(JSPCAN、地方自治と子ども施策自治体シンポetc)への積極参画	2名以上/年	浜崎、 霜、山田			
県&丹南自治研センターとの協働による地方自治研究活動の推進	3回以上/年	馬場・亀間						
人事ヒアリングの実施、および(各職員ごとの)個別研修シートの更新	ヒア2回以上/年	田中 亀間						
職員サポート体制(=相談体制)を確立するための社労士等、高度専門職の顧問(スーパーバイザー)化の推進	2名以上	橋本・亀間・明石						
構成員全員の団結強化を目的とした役職員全員による意見交換会(夕食交流会)の開催	1回以上/年	中島 川端						